

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English D		
英文授業科目名	English D		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目Ⅰ		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	本間 章郎（学内連絡教官 佐藤 美弥子）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>この授業はEnglish Bに引き続いて、TOEIC形式の問題の演習を繰り返すことで、その特徴を把握し、TOEICのテスト対策の一環となることを目指していきます。できるだけ限られた時間の中で、重要な情報を聞き取り、文章を適切に読み取ることで、リスニングとリーディングの力を伸ばしてもらえればと考えています。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
English B

【教科書等】
<p>教科書：Cutting Edge in Science（邦題「サイエンストピックで学ぶ英語」） 松野 守峰他著 金星堂 1900円</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

授業では毎回、小テストをおこないながら、テキストを進めていきます。限られた時間の中で演習問題を解いてもらい、翌週の授業で解説をおこないます。解説の際、できるだけ授業出席者に無作為に当てていくので、質問に答えられようによく勉強をおこなっておくことを望みます。基本的に毎回の授業で1課ずつ進んでいき、第11課から初めて、第20課まで進みます。現在の予定では、授業の最終週に学期末テストをおこないたいと考えています。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価は、学期末テストを中心に、授業内小テスト、出席点などの授業における平常点を加算して、総合的に判断します。ただし、成績評価の対象となるのは、最低限の出席の回数を達成していないといけませんので、欠席の回数には気をつけてください。100点に換算して成績評価をおこないますが、60点以上が単位取得のための最低基準点数となります。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けていないので、相談のある方は、授業当日の授業時間の前に、非常勤講師控え室に来てください。

【学生へのメッセージ】

これから専門的な研究や、学問的な関心を追求していく上で、英語は大きな比重を占めていくのではないかと思います。英語が障害となることなく、手段として研究を深めていく上で役立つようになることを望んでいます。

【その他】